

(別添 1)

【寝屋川市】

端末整備・更新計画

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
① 児童生徒数	14,919	14,602	14,223	13,856	13,466
② 予備機を含む 整備上限台数	17,156	16,792	10,773	4,972	0
③ 整備台数 (予備機除く)	0	4,867	4,678	4,311	0
④ ③のうち 基金事業によるもの	0	4,867	4,678	4,311	0
⑤ 累積更新率	0	33%	67%	100%	100%
⑥ 予備機整備台数	0	716	701	646	0
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	0	716	701	646	0
⑧ 予備機整備率	0	14.7%	15%	15%	0

※①～⑧は未到来年度等にあつては推定値を記入する
(端末の整備・更新計画の考え方)

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：17,189 台

○処分方法

- ・使用済端末を公共施設や福祉施設など地域で再利用 : 2000 台
- ・その他(売却) : 15,189 台

○端末のデータの消去方法 ※いずれかに○を付ける。

- ・処分事業者へ委託する ○

○スケジュール(予定)

- ・令和 8 年 1 月 新規購入端末の使用開始
- 令和 8 年 9 月 処分事業者 選定
- ・令和 9 年 1 月 新規購入端末の使用開始
- 使用済端末の事業者への引き渡し
- 令和 8 年 9 月 処分事業者 選定
- ・令和 10 年 1 月 新規購入端末の使用開始
- 使用済端末の事業者への引き渡し

(別添2)

【寝屋川市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

35校、100％。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

- ・ 更改後も100％を維持するために、定期的に学校訪問や連絡を行い、ネットワーク速度の測定や通信業者とも連携し課題の特定に努める。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

- ・ 更改後も100％を維持するために、課題発生時は、ネットワーク業者と連携し速やかに課題の特定、改善を図る。

(別添 3)

【寝屋川市】

校務DX計画

令和 5 年 3 月から校務支援システム（クラウド版）を導入し、成績処理、指導要録の自動出力等校務のデジタル化による業務の効率化を図り、子どもと向き合う時間の確保と教職員の働き方改革を推進している。出席連絡や保護者連絡に関しては、クラウドを利用し保護者の端末からでも閲覧、出席連絡ができるシステムを構築している。FAXや押印が必要な書類を精査し、ペーパーレス化を推進している。

<利用している先生方より>

【利点】

- ・名簿・児童生徒情報が共有できる
- ・教職員が個々に入力作業を行うことができる。
- ・ネットワークセキュリティ、ヘルプデスク等、サポートされたシステムである。

【課題】

- ・データの取り出しに手間がかかる。
- ・校務支援システムを立ち上げていると、P Cの他の作業とが同時にできない。

【今後の計画】

- ・令和 6 年度より 3 年計画で校務用端末のリプレイスを行い、ネットワーク機器の一部更改も令和 6 年に実施している。校務用端末のスペックが上がることにより他作業を可能にし、ネットワーク機器を更改することでデータの出し入れをストレスなく行うことを可能にする。

(別添4)

【寝屋川市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- ・子どもたちの発達段階に応じて、ICTを効果的に活用しながら、自分の考えを表現したり、整理したり、深めたりする。
- ・子どもたちの考える力を育むために、探究型授業を取り入れ、授業づくりの方針を全ての教員で共有し、“寝屋川教育”を実施する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」の育成をめざし、子どもたちが自らやってみたいと思える課題設定や学習活動の工夫を行う。

2. GIGA第1期の総括

- ・令和2年度よりLTE通信方式の端末の配備を行った。コロナ禍において学びを止めることなくライブ配信を行い、Wi-Fi環境が整っていない家庭でも安心して授業を受けられる環境を構築し、学習保障を継続的に行うことができた。
- ・授業では、考えの共有、考えの整理等、協働的な学びの充実に成果があった。家庭学習においても持ち帰り率100%で自学自習の一助となった。
- ・導入当初は、GIGA端末を使用する際のスキル不足、知識不足がある中でコロナ禍があいまって教職員の使用頻度が下降傾向であった。スキル、知識不足を補うため操作研修や、各教科研修において好事例を共有し授業改善に取り組み、教職員のスキルアップや意識の醸成を図った。

3. 1人1台端末の利活用方策

- ・引き続きオンライン授業を行うことで、学校休業、不登校児童生徒の学習保障を行う。
- ・こころの天気を活用し児童生徒の実態把握を行う。
- ・NEXTGIGAにおいてもLTE通信方式を採用し、校外学習への積極的な活用、個別最適・協働的な学びの充実を意識した授業改善について、研修や研究授業を行う。
- ・LTE通信方式の利点を生かし、家庭学習課題の充実にも意識を向けていく。
- ・3年計画で端末の入れ替えを行う。現行の入れ替え端末は図書館での利活用（freeWi-Fi環境が整っており図書の検索や、ホームページ閲覧等使用予定）、保育園、幼稚園での利活用（お絵描きツールや、ひらがなの練習等）を検討している。